

湯沢CS通信

令和8年9月2日 第96号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

「ゆざわ」ミスクみらいトーク」開催



8月4日(火)、秋田エプソンゆざわホールの中ホールで、各校の校長先生、今年度本市に転入された先生、新しく学校運営協議会委員に委嘱された方を中心に、「ゆざわミスクみらいトーク」を開催しました(参加者は教員40名、委員24名)。

この会の趣旨・目的は、湯沢市教育大綱(令和7～11年度)の基本理念「ふるさとに誇りをもち 未来を創る人材を育み 誰もが光り輝くまち ゆざわ」及び基本方針「特色ある学校教育 ふるさと「ひと・もの・こと」を生かし、創意工夫に満ちたゆたかな教育を推進します」を受け、各校でコミュニティ・スクールを推進し、地域全体で学校や子どもたちの活動を支援する取組や、地域とともにある学校づくりに資することです。

参加者の皆様には、およそ2時間、様々な立場の方と対話をしていただきました。今後のCSの取組に生かしていただければと思います。

内容

- ・講話 湯沢市のCSの取組について
- ・グループ協議 各校の取組紹介、情報交換
- ・熟議 テーマ「子どもたちに伝えたい

『ひと・もの・こと』

参加者の皆様には、研修会後、アンケートにご協力いただきました。ありがとうございます。ご記入いただきました内容の中から、いくつか紹介させていただきます。

◎講話・グループ協議について

・初めて湯沢市で働く自分でしたが、CSのねらいやこれまでのCSの取組を聞くことができ、とてもよかった。また、他の地区の取組やその地域の特性なども知ることができ、自分の見識を広げることができた。

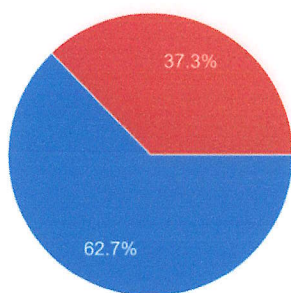
・保護者、地域住民、教職員など、異なる視点から子どもたちを見つめ、学校の努力だけでは解決できない課題も、地域之力(人材や環境)を活かせば、解決策が見えてくるという実感が得られた。

・様々な立場の方々の熱のある言葉を聞くことができ、イメージが広がった。まだまだ勉強不足だが、CSのあり方が少しずつ明確になり、自分も(学校運営協議会の)一員として、子どもたちの力になれるよう動き続けたいと思った。

・子どもたちを育てるために、こんなにも多くの地域の方々関わっていたことを気付かせてくれた研修となった。学校でできること、地域でできること、一緒にできることを考える機会となった。

講話・グループ協議について

- 大変参考になった
- 概ね参考になった
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

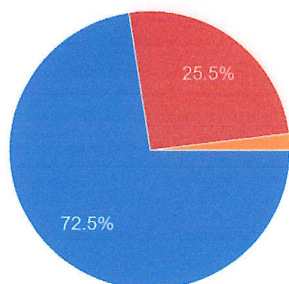


◎熟議について

- ・グループを移動して歩くことで、多くの方と交流できた。また、様々な意見を知ることができ、湯沢市全体の視点で考えることができた。
- ・自分が知らない湯沢について理解を深めることができた。湯沢出身と言えど、知らない部分が多く、まだまだ地元理解を深めたいと思った。
- ・話すことは自分を変えるきっかけになる。今回の熟議では、教員以外の視点も知ることができ、話をしながら自分の考え方を整理することができた。
- ・個人の考えに他者の考えが加わることで深まりが生まれた。また、新たな視点をもつことができ、考えの広がり、そして深まりが期待できるよい取組だった。
- ・ラウンド1〜3の流れで、いろいろな立場、地域の方と話をする中で、新しい発見があったり、面白いアイデアが出されたりして、湯沢について自分事として話したり聞いたりすることができた。
- ・「熟議」というだけの深まりには欠ける感じがした。やっている内容が昨年と似通っていて、場所と時間を変えただけのよう感じた。

熟議について

- 大変有意義だった
- 概ね有意義だった
- あまり有意義でなかった
- 有意義でなかった



◎参加しての感想

- ・湯沢の子どもたちのために自分ができることを話し合う、とても有意義な時間になった。話が盛り上がったのもあって、時間があっという間で、もう少し話したいなあと感じた。
- ・今回参加しなかった職員がCSを身近に、自分事として感じられるよう働きかけていきたい。また、保護者にも広く発信していきたい。
- ・最初は緊張したが、ラウンドが進むごとにリラックスして話すことができた。このような交流が、今後のCSの活性化につながると思った。
- ・同じ湯沢でも地域によって様々な特色があり、課題も変わっていることが分かった。今後、学区がどんどん広くなっていくので、こうした会はより大切になってくると感じた。
- ・熟議がとても有意義な時間になった。湯沢のよさを見つめ直すことができ、これからは自分たちにできることを子どもたちにに向けて発信していく必要性を感じた。
- ・教員や若者の目線で見ることができなかったものが、様々な立場や年代の方たちと関わることによって、少し視野が開けたように思う。
- ・熟議は盛り上がってよかった。話せば話すほど、未来は捨てたものじゃないと思ってしまうが、じゃあそれを実行に移せるかといえ、現実はなかなか難しい。あまり背伸びせず、できることから一つずつ実践していきたい。
- ・新規協議会委員や今春本市に赴任した職員を対象にするならば、講話の内容がもっと深まりがあり、濃いものでなければならぬと思うし、ワールドカフェ方式のグループワークも、その場での広がりはあるかもしれないが、深まりという点では物足りなさが残る。